



2018年(平成30年) 11月
湯浅町社会福祉協議会・湯浅町ボランティアセンター
電話:63-5175 FAX:63-3304
Mail: yuasashakyo-361@violin.ocn.ne.jp

『一人暮らし高齢者支援事業』について(ご案内)

湯浅町社会福祉協議会並びに湯浅町ボランティア推進協議会では、民生児童委員協議会や地域包括支援センターをはじめ様々な関係団体と連携し、一人暮らし高齢者の方々が、住み慣れた地域で安全に安心して生きがいのある生活を過ごして頂くことを目的に以下の事業を実施しています。



実 施 事 業

◎ 『一人暮らし高齢者年賀状作成事業』 【年1回実施】

本年度より75才以上(対象者:昭和19年3月31日以前に生まれた方)の一人暮らし高齢者の方々を対象に、町内の小学生より年賀状を送付して頂き、高齢者の方々との交流を図ることを目的に実施しています。

◎ 『ほのぼの茶話ごう会』 【町内を4ブロックに分け、各ブロック年2回実施】

本年度は、75才以上(対象者:昭和19年3月31日以前に生まれた方)の一人暮らし高齢者の方々を対象に開催しています。
内容は、介護予防をはじめ、昼食交流会やレクリエーションを通じて参加者の皆さんの交流を図っています。

◎ 『湯浅町災害時要援護者登録』 【随時】

65才以上の一人暮らしの方、障がいや病気により自力で避難することが困難な方を対象に、災害が発生した時の安否確認や避難支援活動に役立つことを目的に湯浅町健康福祉課が実施しています。

- 各事業の対象となる方には、民生児童委員協議会・地域包括支援センター・社協の三者が共有している登録者名簿をもとに、地域の民生委員さんの協力を得て、事業のご案内等を行っております。
- 実際は、一人で暮らしているが、「住民基本台帳では同居となっているため、事業のご案内等が行われていない」という方は、地域の民生委員さんまたは、社協(63-5175)まで、ご連絡ください。

平成30年度「湯浅町福祉防災ボランティア研修会」

テーマ「ともに支え合う地域づくりにむけて…」



毎年、全国各地で自然災害が頻発する中、いつ起こるかわからない災害には日頃からの備えが大切です。

また、災害発生後には、社会福祉協議会が中心となり「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、復旧・復興に向けた取り組みを進める一方、地域では支え合い・助け合い活動が重要なポイントとなってくると言われています。

災害時に向け、「平時からどのような取り組みが必要なのか…」「災害ボランティアセンターの役割とは…」、みなさんで一緒に考えてみませんか？

とき 平成30年12月2日(日)

午前10時～午後1時



ところ 湯浅町地域福祉センター

内容 ①対象者宅へ訪問し、災害時に関するヒアリングを行った後、参加者の皆さんで「災害時における地域での支え合い」についてグループワークを行います。

②炊き出し体験(昼食)

参加申込 参加ご希望の方は・・・

湯浅町社協(電話:63-5175 FAX:63-3304)までお申し込みください。

申込締切 11月14日(水)までお願いします。

■今年度の研修会は、実践形式での開催となります。

■当日、皆様には「ボランティア(活動者)」として、軽作業を行って頂く予定となっていますので、動きやすい服装でご参加ください。

■駐車場は、改良住宅跡地(総合センター南側)をご利用ください。